

1、 本園の教育目標

幼児の心身共に健やかな成長発達を願って、幼児の主体的活動としての遊びを十分に確保し、一人ひとりが遊びを通して興味関心を持ち、試したり考えたりする過程を大切にしたい教育を行う。また幼児期にふさわしい生活を展開されるよう適切な環境を用意し、教師との信頼関係に支えられた生活、友達と充分関わって展開する生活がなされるように配慮した教育を行う。

2、 本年度、重点的に取り組む目標・計画

目標・計画	具体的な取り組み方法
① 新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応と保育の展開	今年度からコロナウイルスが5類相当となることで保育の制限はなくなるが、ウイルス自体がなくなるわけではなく、その他感染症と合わせて子ども達への保健衛生面に気を付けながらも例年通りの経験ができるよう工夫する。
② 特別支援教育の理解と充実	年々増える配慮の必要な子どもへの対応として、今年度から年長にも加配教員を配置し全クラス2名体制で保育を進める。また絵カードやタイムタイマーなど視覚支援用品を使ってより伝えやすい方法を探りながら、個と集団のバランスを考える。
③ 災害・不審者対策および安全管理	地震・火事・津波の訓練は成熟してきているため、引き続き不審者対応に力を入れ、複数パターン行う。
④ 職員の研修体制	昨年度から30次プロジェクト（大阪総合保育大学・瀧川光治教授）と今年度から31次プロジェクト（名古屋市立大学・上田敏丈教授）に参加し、カリキュラムマネジメント・ドキュメンテーション（30次）および園内研修を通しての保育の質向上（31次）について学びを深めていく。近畿地区私立幼稚園教育研究大会と大阪府私立幼稚園教員研修で発表も担当している。その他のZOOMや動画配信での研修にも積極的に参加する。
⑤ 園内研修の充実	今年度は園内研修を学年ごとの担当制を取り入れ、学びたいことを自ら考え外部講師に依頼したりしながら進めていく。
⑥ 新人育成	今年度は新卒者が4名と、職員数は過去最多となったが、新人が多いため、人材育成に力を入れていく。具体的には今年度中に疑似的に担任の役割を経験し、子ども理解・指導案やドキュメンテーションの作成・支援児の対応など具体的に携わり、園として新人対象の研修を実施し、次年度に向けた準備を丁寧に行っている。

	く。支援児の対応で悩む若手職員の支えになることも大きなメリットと考える。
⑦労働環境の改善	新人採用・人材育成・早期離職を防ぐことが業界全体の課題となっているが、当園としても人材育成のみならず、働きやすい職場環境の整備やチームワークの向上にも注力し、保育の質向上のためには労働環境の改善が必要であることを意識し、働きたい園・長く続けられる園を目指した環境を整える。

3、 評価項目の達成及び取り組み状況

目標・計画	具体的な取り組み方法
① 新型コロナウイルス感染症５類移行後の対応と保育の展開	日々の保育では子どもへの衛生面への声掛けや適宜消毒をするなどして、コロナの園内感染は生じていない。ただ、１学期は今年度特有の事情なのか様々なその他感染症の広がりがあったため、他児への感染拡大が生じないように配慮し、その結果学級閉鎖もなく行事も無事に終えることができた。
② 特別支援教育の理解と充実	支援児の増加に伴い、今年度途中から３歳児と５歳児に追加で１名の加配教員を配置し、２クラスで３名体制を取った。個を大切にしながらも集団教育である幼児のクラス全体運営において支援児に対しては無理に参加させるのではなく、加配教員が状況に応じて個別の対応をしていくことでクラスのまとまりとのバランスを取った。
③ 災害・不審者対策および安全管理	今年度は天候にも恵まれ、４～９月まで地震・火事・津波を想定した訓練がすべて実施できた。不審者対応は子どもへの影響を考慮し、１０月以降に行うため、まだ実施できていないが、パート職員も含め、全員の振り返りを毎年同様行うことで、いつ何が起こっても対応できる組織作りを進めていく。 また、例年の遊具の安全点検に加え、昨年度からプール遊び同様に園庭でも監視員を配置することにより、報告対象となるような大きな事故やけがは発生しなかった。
④ 職員の研修体制	府や市の研修や民間の研修がオンライン化したことにより、より多くの職員が受講することができた。今年度は乳児クラスの職員も複数回受けることができ、自己研鑽の意識が向上したように感じる。また園内研修により職員間での議論も活発であった。

⑤園内研修の充実	5月の特別支援研修に続き、6月から担当制として年長からスタートとした。30次プロジェクトをフィードバックし、教育課程、年間計画を確認し、指導案を教育・保育要領の10の姿から考え、今後は10の姿を指導案に落とし込むようにしていく。 また、10月は運動遊びの研修をすることとなり、外部講師を招いて3時間の研修と、例年の10月に兵庫教育大学の鈴木教授に終日来園いただき、保育へのアドバイスと園内研修を実施した。
⑥ 新人育成	新卒者4名を採用したため、新人教育としてベテラン教員が事務的な点を伝えるとともに、保育に関する部分はともに考える姿勢をもち、子どもの姿や興味関心から立案することの大切さや、預かり保育や園庭開放の立案を共にしてきた。ただし、今年度は職員の体調不良やけがが相次いだため、後半は人材育成の側面からは手厚くできなかった部分もある。
⑦ 労働環境の改善	昨年度から正規・パートとも全員に休憩がきちんとれるよう職員配置を増やし前半は対応できた。ただ後半は人手不足によりかなり工夫が必要となった。次年度は残業をなくせるような工夫をし、引き続きメリハリのある働き方を推し進めていく。

4、 財務状況

公認会計士監査により、適正に運営されていると認められる。

5、学校関係者評価

① 新型コロナウイルス感染症5類移行後の対応と保育の展開

【回答者A】

十分な取り組みがされていたと思います。

【回答者B】

コロナ禍で得た知識と経験から全てを元に戻すのではなく、柔軟に対応して頂いているなと思います。

【回答者C】

保育内だけでは難しいと思います。イロドリリンクで感染症報告をながしていただけるだけでも家庭でもできることがあるので（手洗いうがいをしっかりさせる。マスクをつける等）引き続きお願いします。

【回答者D】

マスクを任意に変更するタイミングも早かったと思うし、参観などの2人以上の参加 OK のタイミングも良かったと思います。

② 特別支援教育の理解と充実

【回答者A】

とてもいい取り組みだと思います。

【回答者B】

サポートが必要な子をみんなで優しく「見守る」「助ける」「一緒にする」バランスがとても良いなと思います。

【回答者C】

支援児さんは個々で違うので難しいと思う。保護者さんからも、たくさんおはなしをききつつ、子どもが無理なくすごせるようにできるとよい。

【回答者D】

とても良い対応をされていたと思います。

③ 災害・不審者対策及び安全管理

【回答者A】

監視員の配置はとてもいいと思います。ありがとうございます。

【回答者B】

定期的な訓練を行って頂いているので、いざという時も大丈夫だろうと安心して預ける事ができます。

【回答者C】

・年々災害が多くなっていますが、園での訓練成果もあり、家でも災害等で、はなしをすることがあります。ありがとうございます。

・不審者と言っても、まだ何が不審者なのか、いまいちわからないようです。家でもはなしたりはしますが…。難しいですね。

【回答者D】

訓練の回数が多くて親としてはとても安心します。

④ 職員の研修体制

【回答者A】

オンライン研修が主流になってきていると思います。限られた時間の中で先生方の負担にならないよう様に受講していただければと思います。

【回答者B】

外部からの意見を取り入れる事で園全体の雰囲気年々良くなっていると思います。古き良きに捉われず、先生方が伸び伸び働ける環境が子供たちにとって最高の環境になっていると思います。

【回答者C】

多くの職員が受講でき意識向上していくのは良いですね。

実際行かないとできないこと、わからないことがあると思いますが、オンラインでもできることはしていくべきです。

【回答者D】

外部の研修などに参加されたことにより、よりよい保育をして頂けていると思います。

⑤ 園内研修の充実

【回答者A】

十分な取り組みがされていると思います。

【回答者B】

園内研修は子どもも保護者もどんな事をしているのか見えない部分なので、少し発信する場面があっても良いのかな？と思います。

【回答者C】

昨年、私も参加させていただき貴重なお時間ありがとうございました。

参観とはまた違った子どもたちが見れました。

意見交換などもさせていただき良かったと思います。

【回答者D】

子供たちの為に保育力を高めたり、スキルアップを常にされているということで、親も安心して頂けると思います。

⑥ 新人育成

【回答者A】

人手不足の中での新人育成は職員の方々も大変だったと思います。その中でも十分に取り組みはなされていたと思います。

【回答者B】

新人の先生も積極的に教育の場に参加している様子が見受けられ、子供たちと直接たくさん触れ合う事で幼稚園に馴染むスピードが早く、しっかりした先生が多いなという印象です。

【回答者C】

今回はいろんなことが重なってしまった感じでしたね。

バタバタしている感じは見受けられました。

【回答者D】

新人の先生達が、子供たちの名前や保護者の顔を覚える早さには、いつも感心します。

⑦ 労働環境の改善

【回答者A】

メリハリのある働き方、とても良い取り組みだと思います。

働きやすい環境は園児達にも影響すると思いますので引き続き宜しくお願いします

【回答者B】

先生の人数が増えた事で先生たちにも子どもたちにもとても良い環境になったなと思います。

【回答者C】

先生方に休憩をとってもらうには人手も必要になりますし難しい課題ですね。

【回答者D】

アプリでの連絡を取る方法やiPadを使うところなど、先生方の手間を少なくすることは良いことだと思います。